

学校教育目標 「進んで学ぶ子・心の豊かな子・明るく元気な子」



狭山小だより

「誰からも信頼される、明るく元気な学校」

令和6年度
第9号
1月8日発行
児童数357名
TEL 04(2934)2077

「初心忘るべからず」
～ 自分自身への戒めの言葉として ～

校長 田島 浩

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



令和7年・2025年が始まりました。旧年中は、保護者や地域の皆様方には本校の教育活動に関して、ご支援やご協力をいただき誠にありがとうございました。

今年は「巳年」です。巳年生まれの人はいつも冷静で分別ある判断ができる、一度決めたことはやり抜く粘り強さがある、感受性が強い、とのことです。私の弟は巳年ですが、当たっているようでもあり外れているようでもあります。



さて、新年の目標を立てようとあれこれと考えていた時に「初心忘るべからず」という言葉を思い出しました。これは能を大成した**世阿弥（ぜあみ）**の言葉です。一般的には「初めの志を忘れてはならない」という意味で使われていますが、世阿弥の言った意味とは少し異なるようです。「初心の芸がいかにつたないものであったか、その未熟さ、醜悪さを想いだして、肝に銘ぜよ。そうしていれば、現在の芸は退歩しないものだ。」という意味のようです。そして「**どんなに年数を重ねても、自分は常に初心者（しょしんもの）である**」という謙虚さを忘れないことと説いています。

思い起こせば約40年前、教員になりたての頃のことです。未熟で失敗が多く、周りの教員や子供たちに多くの迷惑をかけていたことを今でも思い出します。ただ、目の前の子供たちのために愛情と情熱を注ぎ、少しでもわかる授業・楽しい授業をしたい、誰もが楽しい学校生活を送れるようにしたい、と考えていました。「**はじめに子供ありき。すべては子供たちのために。**」という教育信条をこれからも胸に刻み、校長として「**初心忘るべからず**」を心に、学校経営を進めて参ります。

3学期の授業日数は、52日間です。**1月は行く、2月は逃げる、3月は去る、**と言われるように慌ただしく過ぎてしまいますが、1年のまとめの大事な学期です。悔いのない学期にして、次の学年に進級する準備をしてほしいと思います。**1年生は2年生の0学期の始まりです。6年生は中学1年生の0学期の始まり**なのです。教職員は日々の生活の中で、子供たちに大切なことを確実に身につけさせながら、一人一人の力が一層発揮できるよう取り組んで参ります。

12月の学校生活

1月の生活目標「学習のきまりをまもろう。」

【第2回学校運営協議会】12月2日（月）



各校長やPTA会長、区長会長、保育所長、園長、東野高校、民生児童委員協議会会長等16名で構成され、武蔵中学校区の課題解決のために、地域の方々と共に考えていく大切な会です。3校時は授業参観していただき、貴重なご意見をいただきました。また3グループに分かれ、「あいさつ」や「教育支援（ボランティア）」、「環境整備」について意見交換をしました。

【第2回小中連絡会】12月4日（水）



宮寺小で授業参観したあと、学力や家庭学習、生徒指導、体力等の部会に武蔵中学校区3校の教員が分かれ、各校の取組の情報交換をしました。3回目は、2月に狭山小で開催されます。反省をもとに改善を行い、よりよい学区になるよう3校で足並みをそろえていきます。

【第2回教育未来会議】12月11日（水）



中田教育長が、令和3年度から始めた試みです。代表児童に対して、教育長から8つの質問に○と×を掲げて意思表示します。1回目の7月には小島彩花さんと後藤優月さんが、今回は亀野つなぐさんと松浦大夢さんが狭山小代表として参加しました。教育長からの個別の質問に対して、自分の考えをしっかりと伝えることができていました。立派でした。

【2学期終業式のあとの、児童代表の言葉】12月24日（火）



3年の秋元つくしさんと2年の中川碧士さんが、2学期頑張ったことや3学期頑張りたいことを話してくれました。秋元さんは習字や国語を頑張り、これからは理科を頑張ることを、中川さんは鉄棒を頑張り、これからはいろいろなことにチャレンジしたいことを話してくれました。全校児童の前で堂々と発表ができ、とても素晴らしかったです。

狭山小学校のHPにある「校長のひとり言」をご覧ください。ほぼ毎日更新し、子供たちの学校生活の様子をお伝えしています。